

# 憲法96条改定許せない



主権者が  
国民が

## 国家権力を縛るのが憲法

世界の憲法も、時の権力者の都合のいいようにコロコロ変えられにくくなっている！

アメリカ…上下両院3分の2の賛成と、50州の4分の3の州議会から同意が必要。

ドイツ…連邦議会の3分の2以上の賛成と、連邦参議院の3分の2以上の賛成。

フランス…各院の過半数の賛成と、両院合同会議で5分の3以上の賛成。

だから世界の多くの国の憲法でも、時の権力者に都合のいいように、憲法をコロコロ変えることが難しくなっています。

多くの皆さんは、「憲法は国民に縛りをかけるもの」というイメージを持っておられるのではないのでしょうか。しかし、憲法は決して国民を縛るためのものではありません。憲法は権力に携わるものを縛り、国民の人権を守るための法です。96条を改定することは、単に手続きの問題ではなく、「主権者である国民が国家権力を縛るといふ『立憲主義』根本を覆す」という、憲法の本質を否定する問題なのです。

### 憲法の本質否定する問題

また、自民「改定案」では、「国旗・国家の尊重」を国民に義務付け、24条では「家族はお互いに助け合わなければならない」ということを盛り込んでいます。このように自民党「改定案」には、国家が国民に義務を押し付ける姿勢が明らかとなっています。

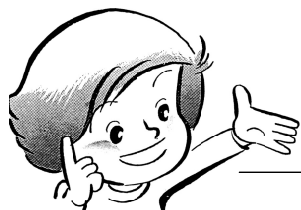
自民党は昨年4月、「日本国憲法改正案」を発表しました。自民党「改定案」では、憲法9条2項を削除し「国防軍」を書き込んでいるとともに、基本的人権を「侵すことのできない永久の権利」とした97条を全面削除し、基本的人権を根底から否定しています。

### 96条改定の先にあるのも

現憲法では、国会が憲法改正を議決するには、衆参両院で総議員の3分の2の賛成が必要と規定されています。安倍首相は、そのハードルを「2分の1」に下げて憲法を改定しやすくしようとしているのです。どのように変えたいのかという中身の問題を抜きに、まず手続きを先に決めて変えやすくするのが狙いなのです。

安倍首相は政権発足以来、96条の緩和を主張してきましたが、「7月の参議院選挙の争点にする」と明言し、さらに踏み込んだ考えを示しました。96条とは何か、改定案にはどんな問題があるのでしょうか。

## 国民を縛る憲法に変えてはならない！

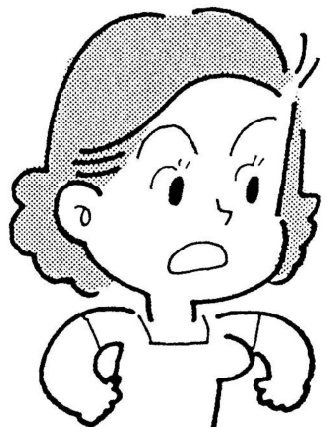


えっ！

# 京都に米軍基地!?

## 京丹後に米軍レーダー配備 軍人ら160人体制

(Xバンドレーダー)



丹後を訪れる全国の人々は、歴史とロマン、美しい自然と豊かな食、温かい地域の人々との触れ合いを楽しみにしています。米軍基地がある丹後に魅力があるのでしょうか。

米軍基地建設は、丹後・京都の地域振興にも逆行する大きな問題です。

### 米軍基地建設は地域振興の努力に逆行

### レーダー基地で幾多の犯罪

06年に、京丹後と同じ米軍Xバンドレーダーが配備された青森県車力基地では、開設わずか1年間に軍属7人が強制的に本国に帰国させられている。宿舎内での暴力や飲酒が原因。その後も近くの女性宅への不法侵入や酒気帯び運転など逮捕事件が相次ぎ、09年には自損死亡事故を起こし、地元青森では大きな社会問題となった。

### 米兵犯罪に府民が巻き込まれる

また米軍基地は、住民の暮らしと営業、安全にも重大な影響を及ぼすことは、沖繩をはじめとする全国の米軍基地や、Xバンドレーダーがすでに配備されている青森県でも様々な問題が発生していることから予測できます。

さらに、Xバンドレーダーが強力な電磁波を出すことから、青森県の車力基地では、半径6キロ、高度6キロを立ち入り禁止区域としているのです。車力基地は、周辺に民家は全くありません。しかし、京丹後の建設予定地は、数百メートルの近さで集落があります。だからこそ、地域住民に不安の声が広がっているのです。

## 平和を愛する府民は許さない 頭ごなしの押し付け

日米両政府は2月26日、ミサイルを追尾する米軍の高性能レーダー「Xバンドレーダー」を、京丹後市の航空自衛隊経ヶ岬分屯基地に追加配備すると突然発表しました。

そもそも、このような重大な事項を、地元住民や自治体にもったくの説明もなく頭ごなしに決定し、押し付けることは許されるものではありません。

### アメリカの防衛が目的、 府民は、犠牲に

しかもXバンドレーダーは、日本の防衛のためではなく、米国本土等の防衛を目的としたもので、海外紛争に巻き込まれる危険、攻撃目標となる危険性が高くなります。Xバンドレーダーの京丹後市への配備は、平和を脅かし、府民を戦争の危機に巻き込みのちと安全を脅かすものです。

京丹後に配備される物と同型とされるXバンドレーダー

